改訂日　2008年11月13日
作成日　1996年03月18日

製品安全データシート

【１．化学物質等及び会社情報】

製品名	：アプローチ　ＢＩ
会社名	：花王株式会社
住所	：(〒131-8501)東京都墨田区文花２－１－３
担当部門	：ケミカル事業ユニット
電話番号	：03-5630-7601
FAX番号	：03-5630-7964
メールアドレス	：chemical@kao.co.jp
緊急連絡先	：03-5630-7601
推奨用途及び使用上の制限	：

【２．危険有害性の要約】

最重要危険有害性及び影響	：引火性
ＧＨＳ分類	
物理化学的危険性	
引火性液体	：区分3
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	：区分外
急性毒性（経皮）	：区分外
急性毒性（吸入）	：区分外(蒸気)
皮膚腐食性／刺激性	：区分外
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	：区分外
呼吸器感作性	：分類できない
皮膚感作性	：区分外
生殖細胞変異原性	：分類できない
発がん性	：分類できない
生殖毒性	：区分2
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	：区分1(中枢神経系、腎臓、全身毒性)
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	：区分2(血管、肝臓、脾臓)
吸引性呼吸器有害性	：分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性・急性	：区分外
水生環境有害性・慢性	：分類できない

ＧＨＳラベル要素

絵表示又はシンボル　：

注意喚起語	：危険
危険有害性情報	：引火性液体および蒸気 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い 臓器の障害（中枢神経系、腎臓、全身毒性） 長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ（血管、肝臓、脾臓）

注意書き

【予防策】	：使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
容器を密閉しておくこと。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。火花を発生しない工具を使用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく洗うこと。
製造者／供給者または規制当局が指定する保護手袋および保護眼鏡／保護面を着用すること。

【対応】 : 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。多量の水と石鹸で洗うこと。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
火災の場合には、火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火すること。

【保管】：容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。

【廃棄】：内容物／容器を適切な焼却炉で焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

【使用上の注意】：

【３．組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別：混合物
官報公示整理番号（化審法）：有り
官報公示整理番号（安衛法）：有り
成分及び含有量

成分	含有量(%)	CAS 番号
ポリオキシエチレンヘキシタン脂肪酸エステル	50 - 60	非公開
イソプロピルアルコール	20 - 30	67-63-0
水	20 - 30	7732-18-5

【４．応急措置】

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

飲み込んだ場合：暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

【５．火災時の措置】

消火剤：粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤：情報無し
特有の危険有害性：情報無し
特有の消火方法：火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火を行なう者の保護：消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

【６．漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡）を着用する。
多量の場合、人を安全に待避させる。
必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項：漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

除去方法：少量の場合、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策　：付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
火花を発生しない安全な用具を使用する。

【７．取扱い及び保管上の注意】

取扱い

技術的対策　：取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

注意事項　：火気厳禁。

安全取扱い注意事項　：適切な排気換気装置を使用する。
取扱い後はよく洗うこと。
適切な保護具を着用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

保管
　適切な保管条件　：容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。
火気厳禁。
　安全な容器包装材料　：情報無し

【８．暴露防止及び保護措置】

設備対策　：取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を使用する。
機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
管理濃度　：２００ｐｐｍ
イソプロピルアルコール
許容濃度
　日本産業衛生学会　：【最大許容濃度】４００ｐｐｍ（９８０ｍｇ／ｍ３）
イソプロピルアルコール
　ＡＣＧＩＨ　：ＴＷＡ　２００ｐｐｍ，　ＳＴＥＬ　４００ｐｐｍ
２－プロパノール
保護具
　呼吸器の保護具　：必要により有機溶剤用防毒マスク
　手の保護具　：ゴム保護手袋
　目の保護具　：側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡）
　皮膚及び身体の保護具　：長袖作業衣
適切な衛生対策　：情報無し

【９．物理的及び化学的性質】

物理的状態
　形状　：液体
　色　：淡黄色透明
　臭い　：アルコールのような臭い
　ｐＨ　：6.5　（５％水溶液）
物理的状態が変化する
特定の温度／温度範囲
　沸点　：情報無し
　融点（流動点）　：情報無し
　引火点　：21.5　℃　（セタ密閉式測定器）
燃焼又は爆発特性
　燃焼又は爆発限界　：上限 ： 情報無し　下限 ： 情報無し
蒸気圧　：情報無し
蒸気密度　：情報無し
比重（密度）　：0.998　g/mL　(　20　℃)
0.991　g/mL　(　30　℃)
0.985　g/mL　(　40　℃)
溶解度
　水溶解性　：可溶(易溶)
　溶媒溶解性　：キシレンに溶解
ケロシンに不溶
n-ｵｸﾀﾉｰﾙ／水分配係数
(log Pow)　：情報無し
自然発火温度　：情報無し

分解温度　　　　　　　　　　　：情報無し
臭いの閾値　　　　　　　　　　：情報無し
蒸発速度　　　　　　　　　　　：情報無し
燃焼性（固体、ガス）　　　　　：情報無し
粘度　　　　　　　　　　　　　：　　　79.8mPa·s　（　　　20　℃）
その他のデータ　　　　　　　　：情報無し

【１０．安定性及び反応性】

化学的安定性　　　　　　　　　：情報無し
危険有害反応可能性　　　　　　：引火性のガス／蒸気が発生することがある。
爆発性のガス／空気混合物を生成することがある。

避けるべき条件　：情報無し
混触危険物質　：情報無し
危険有害な分解生成物　：情報無し
その他　：情報無し

【１１．有害性情報】

急性毒性
経口
製品についての情報　：情報無し
成分についての情報　：イソプロピルアルコール：区分5；参照(1)
経皮
製品についての情報　：情報無し
成分についての情報　：イソプロピルアルコール：区分5；参照(1)
吸入
製品についての情報　：情報無し
成分についての情報　：情報無し
皮膚腐食性/刺激性
製品についての情報　：ウサギ，未希釈，4時間 半閉鎖貼付試験(OECD404準拠)：
刺激性は見られなかった。
眼に対する重篤な損傷/刺激性
製品についての情報　：ウサギ，未希釈，0.1mL投与：非洗眼 I.A.O.I.=11.3
洗眼 I.A.O.I.= 9.3
呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器
製品についての情報　：情報無し
成分についての情報　：情報無し
皮膚
製品についての情報　：モルモット，Buehler法：陰性
変異原性
（生殖細胞変異原性）
製品についての情報　：情報無し
成分についての情報　：情報無し
発がん性
製品についての情報　：情報無し
成分についての情報　：情報無し
ＩＡＲＣ　：グループ３：ヒトに対する発がん性については分類できない
イソプロパノール
ＮＴＰ　：リストされていない
ＥＵ　：リストされていない
日本産業衛生学会　：リストされていない
生殖毒性
製品についての情報　：情報無し
成分についての情報　：イソプロピルアルコール：区分2；参照(1)
特定標的臓器･全身毒性
－単回暴露
製品についての情報　：情報無し
成分についての情報　：イソプロピルアルコール：区分1（中枢神経系、腎臓、全身毒性)、区分3(気道刺激性)；参照(1)

特定標的臓器･全身毒性
－反復暴露

製品についての情報　：情報無し

成分についての情報　：イソプロピルアルコール：区分2（血管、肝臓、脾臓）；参照(1)

吸引性呼吸器有害性

製品についての情報　：情報無し

成分についての情報　：情報無し

その他　：情報無し

【１２．環境影響情報】

生態毒性	：コイ,　96h, LC50 : ＞ 1000 mg/L ミジンコ, 48h, EC50 : ＞ 1000 mg/L 藻類,　72h, EC50 : ＞ 1000 mg/L
残留性／分解性	：情報無し
土壌中の移動性	：情報無し
生態蓄積性	：情報無し
他の有害影響	：情報無し

【１３．廃棄上の注意】

”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。

おがくず等に混ぜて焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

焼却に際しては引火性物質を含むので注意して行う。

空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

【１４．輸送上の注意】

国際法規制	：航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。	
国連分類・国連番号	：Class 3 / UN1993	
IATA	：UN Number	UN1993
	Proper Shipping Name	Flammable Liquid, n.o.s.(containing Isopropanol)
	Class	3
	Packing Group	III
IMDG	：UN Number	UN1993
	Proper Shipping Name	Flammable Liquid, n.o.s.(containing Isopropanol)
	Class	3
	Packing Group	III
	Additional Information	Not applicable
国内法規制	：陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。	
輸送の特定の安全対策及び条件	：”漏出時の処置：漏出時の措置”を参照。 ”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。 容器の破損、漏れがないことを確かめる。 荷くずれ防止を確実に行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。 火気厳禁。 緊急時応急措置指針番号：１２７	

【１５．適用法令】

国内適用法令：化学物質排出把握管理促進法:該当しない

労働安全衛生法:施行令別表６の２・有機溶剤中毒予防規則第１条第１項第４号（第２種有機溶剤）

労働安全衛生法:法第５７条、施行令第１８条名称等を表示すべき危険物及び有害物

　イソプロピルアルコール

労働安全衛生法:施行令別表１－４、危険物・引火性の物

労働安全衛生法:法第５７条の２、施行令第１８条の２別表第９名称等を通知すべき危険物及び有害物

　プロピルアルコール(20-30%)

毒物及び劇物取締法:該当しない

火薬類取締法:該当しない

高圧ガス保安法:該当しない
消防法:法第２条第７項危険物別表第１第４類引火性液体、第２石油類水溶性液体
　　（２０００L）、危険等級Ⅲ
化審法:特定化学物質・監視化学物質に該当しない
船舶安全法:危規則第２，３条危険物告示別表第１引火性液体類
航空法:施行規則第１９４条危険物告示別表第１引火性液体
農薬取締法：展着剤として登録

物質登録情報	: ENCS(Japan)	有り
	TSCA(USA)	有り
	EINECS(EU)	有り
	AICS(Australia)	有り
	DSL(Canada)	有り

ECL(Korea)	有り
PICCS(Philippines)	有り
IECSC(China)	有り

【１６．その他】

問合わせ先

会社名	: 花王株式会社
住所	: (〒131-8501)東京都墨田区文花２－１－３
担当部門	: ケミカル事業ユニット
電話番号	: 03-5630-7601
FAX番号	: 03-5630-7964
メールアドレス	: chemical@kao.co.jp
緊急連絡先	: 03-5630-7601

引用文献 :

・化学物質等安全データシート（ＭＳＤＳ）－第１部：内容及び項目の順序（ＪＩＳ Ｚ ７２５０）

・国際化学物質安全性カード（ＩＣＳＣ）コンパイラーズガイド 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、 １９９４年

・製品安全データシートの作成指針（改訂２版）、（社）日本化学工業協会、平成１８年５月

(1)GHS分類結果データベース, 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE)

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作製しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当製品安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。貴社が、弊社当該製品をそのまま、あるいは弊社当該製品を配合し、米国へ輸出する際には、事前に弊社担当者へご連絡お願いいたします。